

第640回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「日本のチカラ 働く馬の伝道師」

2019年5月23日（木）

(株) I B C 岩手放送

第640回IBC番組審議会

1. 開催日時 2019年5月23日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 6名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 菅原 和彦 龍澤 尚孝

佐藤 求 澤口 たまみ

欠席委員の氏名 小松 務 畠山 俊彰

宮 順子 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役メディア放送本部長

若槻 修 報道局長

角掛 勝志 テレビ制作部長

鹿野 真源 テレビ制作部ディレクター

事務局 平澤 泰志 番組審議会事務局長

宿輪 智浩 番組審議会事務局員

4. 議題 「日本のチカラ 働く馬の伝道師」

【5月19日(日) 午前6時00分～午前6時30分放送】

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 全般的に馬のシーンがいろいろ出てくるが、急斜面とか狭い道で非常に難しい悪路を一生懸命登って、特に足を折り曲げて必死に登るシーンがあったが、大変胸を打つところがあった。
- 馬に登るのが嫌でイヤイヤをしているときに岩間さんが手綱を引っ張ると登ってくるのが印象的で、本当に心が通じ合っているんだなというのがよくわかった。馬が降りしきる雪の中そりを引くシーンや山の中を歩くシーンなど、映像がとてもきれいでよかった。
- 馬とのコミュニケーションの難しさや大切さ、馬にもそういうコミュニケーションを取れる驚きとか様々な観点で発見があった。馬の性格に合わせたコミュニケーションとか餌のやり方とか、そういうことが逐一必要だということもわかったし、沢や山でのトレーニングで馬の能力を引き出すために馬自身に自分で限界を作らせない。そういう役割も岩間さんが担いながら馬の能力を上げていく等、人間の社会と相通じるところもあると感じた。
- 構成について、主人公の男性を紹介しているのか、馬搬を紹介しているのか、男性と馬をめぐる人たちを紹介しているのか。馬を通じて何をしようとしているのか、番組のメッセージが伝わりにくい感じがした。
今森が荒れ、機械が入れないところの杉も切らなければということ考えると重要なテーマで、これからも番組にしてほしい。
- 馬搬が経済的に見合う生業としてのものなのか、伝統技能を受け継ぐためのものなのか、その辺の簡単な解説や見方があってもよかった。オシラサマや曲がり家などを織り込んで、遠野で馬が人間と関わりの深い動物であることを伝えたのは効果的だった。
- タイトルが「働く馬の伝道師」なので、主人公の男性が伝道師の役割を果たし、馬方として後進にどう指導するのか、馬とのかかわり方をどうイメージしているのかを番組として伝えたかったのだとは思いますが、全般の流れの中での馬搬・馬方の位置づけ、馬そのもの自体はその後どうなっていくのか知りたいと思った。